

Thank you PRESS

サンキュー
プレス
2015

エコカード会員の皆様へ、いつもご支援いただきありがとうございます。
エコカード基金は、国内外で活動するプロジェクトパートナーを支援しています。
今年は会員の皆様への感謝のメッセージを、パートナー団体からお届けします。
これからもエコカード基金をよろしくお願いたします。

活動報告書 2015 (第13期2014年4月1日~2015年3月31日)



保護森林
(森林を守る)

保護野生動物
(野生動物を守る)

感謝! 就是保护楼自己
(ありがとうございます!) (つまりは、人類を守るということです)



秦岭山脉
森林・生態系回復
西北大学生命科学学院
李 保国さん

豊かな海と
子どもたちの笑顔が
復活してます!
ありがとうございます!



東日本大震災復興支援
森は海の恋人
島山 信さん

あなたの500円で
木が息を吹き返す
ありがとうございます!



岩田 和明さん



加藤 大吾さん

ムササビとともに暮らす
里山再生
特定非営利活動法人
都留環境フォーラム

子どもたちの
笑顔が戻り
ました。ありがとうございます。

C.W. ニコルさん



大澤 渉さん

人と森をつなぐ
一般財団法人 C.W. ニコル・
アフアの森財団

皆様の支援
のおかげで
マングローブ
が復活して
います。

南太平洋諸国支援(ツバル)
特定非営利活動法人
Tuvalu Overview



遠藤 秀一さん

皆様の支援のおかげで
バブアニューギニアの
熱帯林が守られて
います
ありがとうございます!



荏原 美知勝さん



高瀬 尚國さん

熱帯雨林保全
(バブアニューギニア)
公益財団法人
オイスカ

小さな希望のタネが
大きく育っています
ありがとうございます

種まき塾
有限責任事業組合
富良野種まき塾



横市 英夫さん

南三陸町
を
いい街に
住みやすい街に
住みやすい街に
子どもたちを
笑顔で迎えます。



小杉 真澄さん



早田 比呂子さん

Meets Green 南三陸
特定非営利活動法人
キッズドア

野口健 環境学校
10年間 ありがとう!!

ネパール 森林プロジェクトも
がんばります!!



野口 靖子さん



野口 健さん

野口健 環境学校
特定非営利活動法人
セブンサミツ
持続社会機構

エコカード会員の皆様
ありがとうございます。

現地の学生も
今年は200人に
なりました。



舛甚 可久子さん



伊藤 健治さん

熱帯雨林保全(ソロモン)
特定非営利活動法人
エービーエスティ
(APSD)

皆様ありがとうございます。
お陰様で大気温暖化防止、
貧困撲滅、日中友好
を推進しています。



白木 孝さん



北谷 昭子さん



北谷 勝秀さん

シルクロード緑化
特定非営利活動法人
2050

ご支援ありがとうございます。
キリバスの子供達と植えた
マングローブは大きく
種をつけるのに
なりました。



馬場 繁幸さん



毛塚 みおさん

南太平洋諸国支援(キリバス)
特定非営利活動法人
国際マングローブ生態系協会

火事あとの
里山が緑に
戻っています!
~ありがとうございます~



竹垣 英信さん

アカマツの森 里山再生
どんぐりの森 里山再生
特定非営利活動法人
森のライフスタイル研究所

メルマガ「コスモエコカード通信」をはじめました!
Facebookも近日開始予定!

エコツアーの情報を中心にお伝えする、メールマガジンをスタートしました。
今ならメールマガジンの新規登録で3,000円分のAmazonギフト券を抽選で
毎月50名様、合計300名様にプレゼントするキャンペーンを実施しています。
ぜひご登録ください。

メールマガジン
登録はこちら



<http://www.cosmo-eco.net/form/>



※画面イメージ

皆様のご支援、ありがとうございます!



会員様からのアンケートの声にお応えしました!

すべてのエコツアーへの申し込みと詳しい内容は、コスモ石油ホームページから

コスモ石油 エコツアー

検索

もっと参加しやすいエコカード基金へ

アンケートの声にお応えして、より多くの場所で会員の皆様が参加しやすいエコツアー・イベントを開催します。お近くの方は、ぜひご参加ください。
※掲載しているプログラム内容は変更になることがあります。 ※参加枠は十分に用意していますが、応募者多数の場合は抽選になることがあります。



東京都立川

ー地球 46 億年の歴史を学ぶハイキングー
富良野自然塾 地球の道 (日帰り)
東京校

作家・倉本 聰氏が塾長を務める「富良野自然塾」。国営昭和記念公園内にあるその東京校で、富良野と同じ「46億年・地球の道」と名づけられた特設コースを歩きながら、見て・聞いて・触って「地球環境問題」の根底を考えます。富良野で学んだ専門のインストラクターが、わかりやすい言葉で参加者の皆様をご案内します。

開催日：11月1日(日) 日帰り
場所：東京都立川市
国営昭和記念公園
(現地集合現地解散)
募集人数：午前の部 20人
 午後の部 20人
参加費：500円/人 ※小学生以下無料
申込締め切り：9月27日(日)

タイムスケジュール

午前の部
10:00 集合
10:15 地球の道ハイキング
12:15 現地解散
午後の部
13:30 集合
13:45 地球の道ハイキング
15:45 現地解散



1mの地球



※写真は北海道の富良野自然塾です

46億年・地球の道



大阪府池田

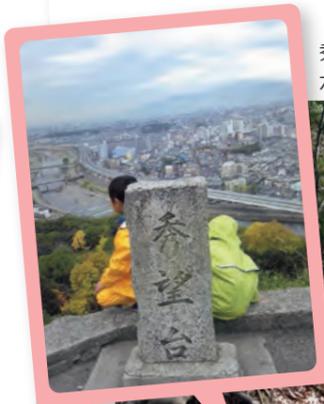
親子で1日、森の秘密を探るハイキング
さつきやま森の親子学校(日帰り)

阪急池田駅から歩いて約15分の五月山の森は景観保護条例で守られ、古くからの雑木林や竹林が残っています。秋は紅葉の名所としても有名です。五月山に親子で登り、みんなで食べる昼食とティータイム、自然を使った工作やどんぐりクッキーなどをつくる予定です。(大人だけの参加も歓迎)

開催日：11月15日(日) 日帰り
場所：大阪府池田市 五月山公園
(現地集合現地解散)
募集人数：30人
参加費：大人(中学生以上) 1,000円
 子ども(小学生) 500円
 ※小学生以下無料
申込締め切り：10月4日(日)

タイムスケジュール

10:30 集合
10:45 親子でクイズをしながらハイキング
11:30 昼食(秀望台にて)
13:00 自然体験ワークショップマーケット
●五月山で見つけた材料でつくるクラフト(おみやげ)
●簡単オープンでつくるどんぐりクッキー
15:00 ティータイム
15:30 一日の振り返り
16:00 現地解散



秀望台からは六甲山、大阪市内、大阪湾が望めます



当日はきっと真っ赤な紅葉のはず



拾い集めた材料でものづくり



COSMO EARTH CONSCIOUS ACT

清掃とお楽しみイベントが合体した

「コスモアースコンシャスアクトクリーン・キャンペーン」にご参加いただけるようになりました!

全国のFM放送局(JFN加盟局)とコスモ石油がパートナーシップを組んで「アースコンシャス〜地球を愛し、感じるところ〜」をテーマに、地球環境の保護と保全のメッセージを呼びかけていく活動、「コスモアースコンシャスアクト」。その一環として、全国の海や山、公園などを舞台に、自然と楽しみながら清掃活動を行っています。

今年はこのクリーン・キャンペーンイベントに、エコカード会員の皆様の特別ご参加枠を設けました。人数に限りはありますが、放送局での募集とは別に、優先的にご参加いただけます。

※クリーン・キャンペーンは全国の都道府県で開催していますが、エコカード会員限定の優先参加枠がある会場は一部です。
※応募者多数の場合は抽選になることがあります。

最新の募集情報はこちら!

エコカード クリーンキャンペーン

検索

<http://www.cosmo-oil.co.jp/kankyo/eco/information.html>

開催報告：6/6(土)~7(日)

クリーン・キャンペーン in Mt. FUJIに4名のエコカード会員様にご参加いただきました!

参加したエコカード会員の感想

- 最高に楽しかったです!自然も満喫できました。エコカード会員でよかった!
- 野口健さんはとても気さくな方で驚きました。お話できてよかった!
- 富士山の麓にこんなにゴミがあるとは思わなかった。話を聞くと実際見るのでは大違い。地球環境の保全に少しでも自分が役に立ててよかった。
- 自然や森を大切にしないといけないことが身をもってわかった。



※野口健さんはMt.FUJI以外のクリーン・キャンペーンには参加されません。

開催間近!

長野県
黒姫

C.W.ニコルの アファンの森で森林浴を(日帰り)

5歳以上

一般財団法人C.W.ニコル・アファンの森財団

木々と生物のチカラに満ちたアファンの森を散策してリフレッシュしませんか?

開催日: 8月22日(土) 日帰り

場所: 長野県黒姫・アファンの森
(長野駅集合)

募集人数: 15人

参加費: 大人(中学生以上) 3,000円
子ども(小学生) 1,000円

※小学生以下無料・ただし5歳以上対象

締め切りはホームページをご覧ください。

タイムスケジュール

- 10:00 長野駅集合・出発(バス)
→アファンの森(黒姫)へ
- 11:00 アファンセンター到着
●アファンの森散策
- 12:00 森で昼食
- 13:00 午後の活動
●五感で感じるアファンの森
●アファンの森の作り方とは
- 16:00 アファンの森発、帰路へ
- 17:00 長野駅着・解散



楽しいわ!



昨年の模様



エコカード会員様への
感謝イベント

仙台(1/23)
大阪(2/13)

森は海の恋人 ~森と海、そして川のつながり~ 畠山重篤氏講演会

エコカード基金のプロジェクトの一つ、「森は海の恋人」の理事長 畠山重篤氏に、漁師の視点から、海の環境を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守ることがいかに大切かをわかりやすくお話しいたします。畠山重篤氏は、京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授を務められているほか、緑化推進功労者内閣総理大臣表彰(2003年)、国連森林フォーラム「フォレスト・ヒーローズ」(2009年)など数々の賞を受賞され、2015年5月9日には国土緑化推進機構「第25回みどりの文化賞」を受賞されました。

開催日・場所: 2016年1月23日(土)

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール(宮城県仙台市)

2016年2月13日(土)

グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)

講演者: 畠山重篤氏

時間: 1時間半程度

募集人数: 各100名程度

参加費: 無料

講演開始時間: 14時30分予定

※開催日まで期間があるため、11月までにお申し込みいただいた方には、1月にメールでお知らせいたします。なるべく早めにお申し込みください。



畠山重篤氏

すべてのエコツアーへの申し込みと詳しい内容は、
コスモ石油ホームページから

コスモ石油 エコツアー

検索



<http://www.cosmo-oil.co.jp/kankyo/eco/tour.html>

参加受付方法が変わりました。インターネット接続環境
をお持ちでない方はこちらにお問い合わせください。

近畿日本ツーリスト(株)
トラベルサービスセンター東日本
コスモ石油エコカード基金係

0570-064-205

(受付時間: 平日 10時~17時)

長野県
伊奈

マツタケを育む アカマツ林を守れ(1泊2日)

小学生以上

特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

アカマツ林を再生するために、大きな熊手を使って柴かきをします。作業の後はきのこ調査。採取したきのこを食べられるかも?

開催日: 10月3日(土)~4日(日)

1泊2日

場所: 長野県伊那市(集合場所 東京駅・
伊那市駅・現地)

募集人数: 20人

参加費: 大人(中学生以上) 5,000円
子ども(小学生) 3,000円

※小学生以上対象

申込締め切り: 8月30日(日)

タイムスケジュール

- 10月3日(土)
- 8:00 東京駅集合・出発(バス)
→長野県伊那市へ
- 12:00 伊那市駅集合・出発(東京駅出発の
バスに同乗)
- 13:00 宿で昼食後、バスで森へ
- 15:00 アカマツの森で活動
●作業手順等の確認
●森林学習
●アカマツ林内の落ち葉掻きや
除伐など
- 19:00 夕食後、夜の森林学習
宿: 信州公共の宿 入野谷(予定)
- 10月4日(日)
- 9:00 菌根菌調査(きのこ類の収穫も)
- 11:30 昼食
- 13:00 伊那市駅、解散
- 17:00 東京駅着
- ※現地集合の方は12:30宿集合、翌日12:30宿
解散となります。



昨年の模様



おいしそう!



「ココロも満タんに」するエコ活動を



コスモ石油エコカード基金
理事長

桐山 浩

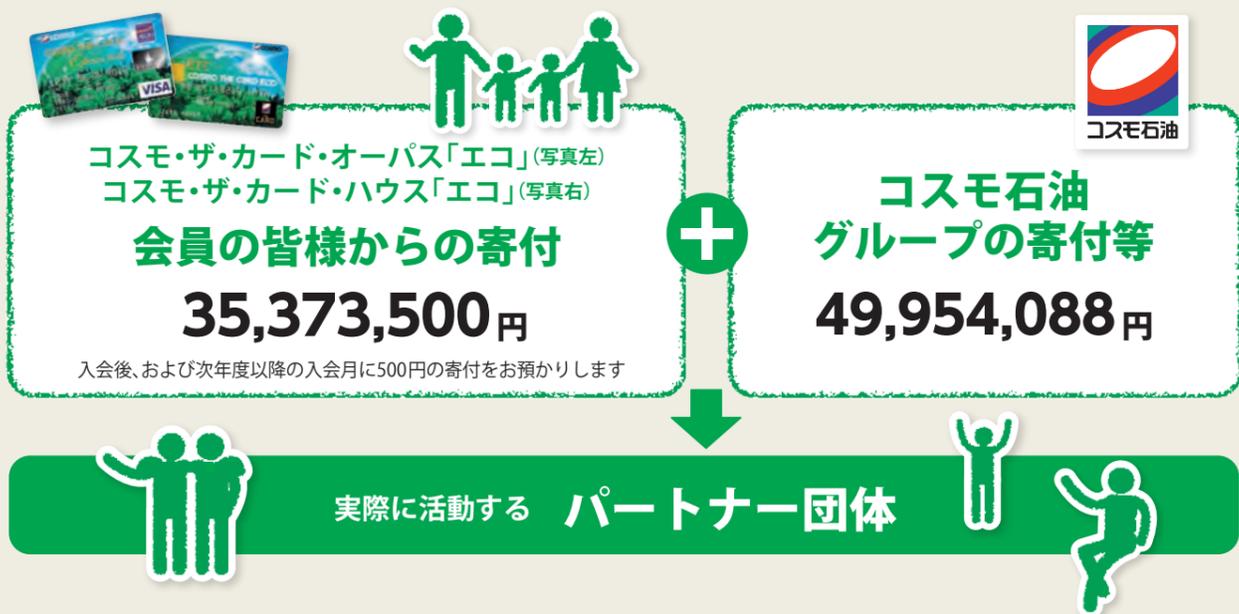
もっと会員様の声にお応えするエコカード基金へ

コスモ石油エコカード基金は、お客様とともに環境保全活動に取り組む基金として2002年に開始し、14年目を迎えました。日頃、エコカード基金を支えてくださっている会員の皆様には心より御礼申し上げます。

コスモ石油が取り扱う主な商品である「石油」は、油田を開発して製品にし、それを車に給油して消費するまで、少なからず環境に負荷をかけています。その事実を真摯に受け止め、消費の段階で関わるお客様と一緒に環境保全活動に取り組もうと開始したのがエコカード基金ですが、設立から十数年経ち、家庭や企業による環境への取り組みが当たり前になってきた今、転換期を迎えています。もっと会員様の声にお応えするエコカード基金をめざして、今年度はプロジェクトの拡充、エコツアーの改善、感謝イベントの開催に着手いたしました。また、それをお知らせするメルマガの発行、会員の方との双方向コミュニケーションができるFacebookページの開設も予定しています。これからのエコカード基金にぜひご期待ください。

エコカード基金ってどうやって運営されてるの？

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」会員のお客様からお預かりした寄付金と、コスモ石油グループからの寄付によって、実際に活動するパートナー団体を支援しています。



評議員からのメッセージ



コスモ石油エコカード基金
評議員
環境NGO:
ジャパン・フォー・サステナビリティ
理事長
多田 博之

設立から14年目を迎えるコスモ石油エコカード基金は、日本の環境保全活動の中では老舗といえます。500円のワンコインで、身の丈にあった形で誰もが環境に貢献できるという仕組みは本当に素晴らしいことだと思います。そしてその基本線は、設立当初から現在に至っても全くぶれていません。

これまで順調に推移してきたエコカード基金ですが、ここ数年会員数が減少しており、曲がり角に来ているのもまた事実です。現行会員を大切にしつつ、現会員にもサポートをお願いして、新規会員の獲得をめざすことが急務と考えています。

さらに、エコカード基金の「あるべき姿」、将来像に関して、従来のフォアキャストの思考ではなく、バックキャストの思考で考え直していただき、今こそ中長期的なあるべき姿を明確にすべきではないでしょうか。日本の環境保全団体の老舗にふさわしい活動を続けてほしいと切に願っています。

エコカード基金のプロジェクトはどんな考えに基づいて選んでいるの？

石油エネルギーは、経済的繁栄の原動力となってきた一方で、「先進国」「開発途上国」という二極化構造を生み、地球環境に負荷を与えてきました。コスモ石油は、次世代に豊かな社会をつなぐ持続的発展を支える責務を自覚し、エコカード基金を通じて国内および途上国の環境修復と保全に取り組む活動を支援していきます。



コスモ・ザ・カードのご紹介

「地球のために何かしたい」という思いを実現するためのカードです。



コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」

コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」は、お客様から毎年お預かりしている500円とコスモ石油グループからの寄付金を、環境保全活動を行うNPOなどに寄付することなどで、その活動をサポートしていきます。

コスモ石油のカードに関するお問い合わせ先

コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」

0120-987-622

携帯電話専用 03-4330-1660

月～土曜・祝日 / 9:15～17:30
日曜日 / 10:00～17:30

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」

北日本 022-771-1500

東京 043-296-6200

中部 059-353-2100

大阪 06-4863-0100

年中無休 9:00～21:00

私たちも地球のために何かしたい！

コスモ石油ルブリカンツ株式会社

コスモECOディーゼルシリーズ

DPFの性能向上、燃費向上につながる環境対応ディーゼルエンジンオイル

大気汚染物質低減のため、DPF装着車が普及していますが、従来のディーゼルエンジン油では目詰まりを起こしやすく、触媒の性能を低下させるという問題がありました。コスモECOディーゼルシリーズは、この問題を起こす成分を削減し、さらにエンジンの長寿命化・省燃費化に貢献します。

この製品の売上の一部がコスモ石油エコカード基金に寄付されています。2014年度は、8,705,343円が拠出されました。



<http://www.cosmo-lube.co.jp/lub/lubproduct10.html>

株式会社コスモトレードアンドサービス

コスモECO.R

CO₂排出量削減・燃費向上につながる環境配慮型バッテリー

充電制御システム搭載車対応で、充電受入性が高く、充電制御システム搭載車に搭載した場合、バッテリー充電のためにオルタネータ（自動車の発電機）を動かす燃料を節約できるため、CO₂排出量削減・燃費向上に貢献します。

この製品の売上の一部がコスモ石油エコカード基金に寄付されています。2014年度は、1,804,160円が拠出されました。



<http://www.cosmo-trade.com/goods/carcare/ecor.html>

収支報告

預金利息・他収入 62,879円

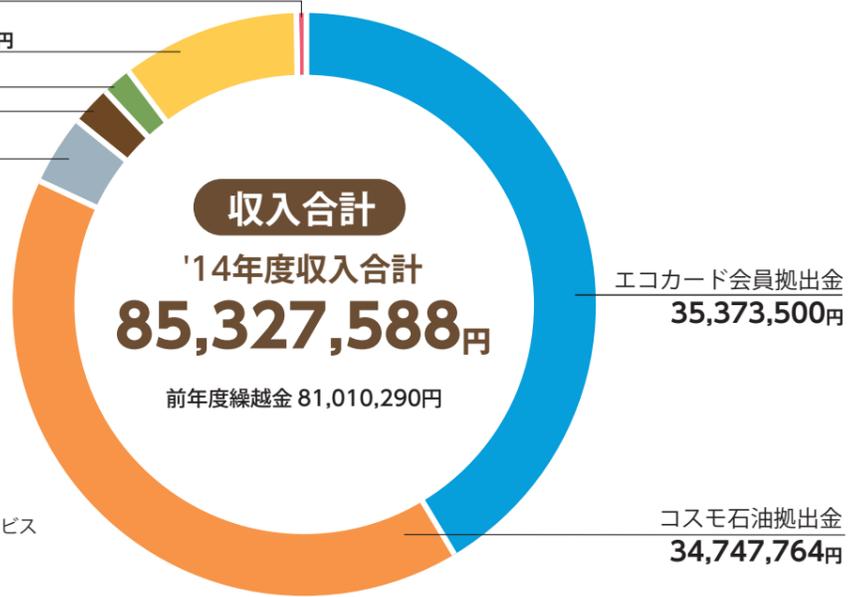
CLC*拠出金 8,705,343円

CTS・東日本復興支援拠出金 1,335,840円

CTS*拠出金 1,804,160円

クリック募金 3,298,102円

* CLC:コスモ石油ルブリカンツ
CTS:コスモトレードアンドサービス



活動報告書アンケートプレゼント費 151,370円

収支レビュー費 300,000円

10周年記念企画・DMクリスマスカード

420,390円

エコツアー費用 561,988円

管理費(評議員謝礼・他支出) 1,204,955円

10周年記念企画・富良野植樹

1,609,620円

活動報告書作成・発送費

9,417,600円

東日本大震災復興支援

森は海の恋人

1,307,548円

どんぐりの森 里山再生

2,072,995円

ムササビとともに

暮らす里山再生

2,500,100円

Meets Green 南三陸

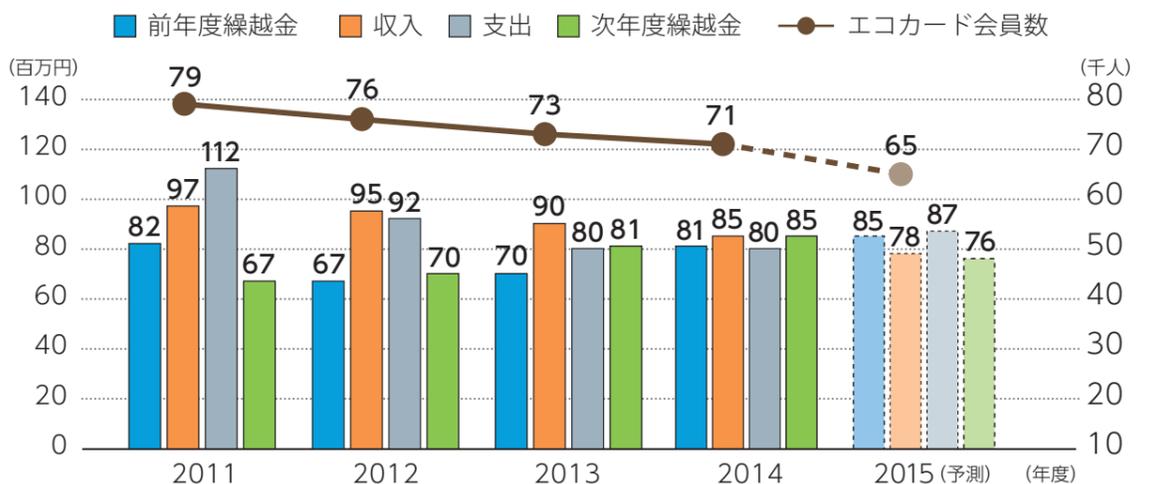
3,218,607円

野口健 環境学校

3,463,006円

人と森をつなぐ 4,113,455円

資産規模と会員数の推移



この収支報告は、基金の収支計算書から分かりやすく作成したものです。基金の収支計算書には、レビューを行った独立した公認会計士から次のような内容の意見を受けています。

収支計算書に対する独立した公認会計士のレビュー報告書(抜粋)

2015年4月11日 公認会計士 加藤 俊也

私は、コスモ石油エコカード基金の委嘱に基づき、同基金の2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)の収支計算書についてレビューを行った。この収支計算書の作成責任は基金の代表者にあり、私の責任は、独立の立場から実施したレビューに基づき収支計算書に対する結論を表明することにある。

日本公認会計士協会監査・保証実務委員会研究報告第20号「公認会計士等が行う保証業務等に関する研究報告」に準拠してレビューを行った。その結果、上記の収支計算書が、我が国において一般に公正妥当と考えられる収支計算の基準に準拠して、基金の収支の状況を適正に表示していないと認められる事項は、すべての重要な点において発見されなかった。

エコカード会員の皆様のご支援のおかげで

こんなことができました!

2014年度プロジェクトのご報告

より詳しい情報が掲載されています。

「コスモ石油エコカード基金」のホームページをぜひご覧ください。

<http://www.cosmooil.co.jp/kankyo/>



ありがとう!

日本：アカマツの森 里山再生 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

3回のエコツアーで落ち葉を集める柴かきを実施

長野県伊那市周辺のアカマツ林を、生態系の調査をしながらボランティアの手で整備し、アカマツ林の価値回復のノウハウを確立して、全国のアカマツ林回復に役立てるプロジェクトです。2014年度は、5、10、11月にエコツアーを開催し、アカマツ林に堆積した落ち葉や枯れ枝を取り除く「柴かき」や、育ちのよくない木を伐る除伐を実施しました。生物多様性調査では柴かきをしたエリアの方が、していないエリアより生物多様性が高くなったことがわかりました。



このために用意した大型の熊手でかき集める

日本：どんぐりの森 里山再生 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所

山火事跡に植林した苗木が育ち生きものが増えています

長野県東御市での山火事跡を、生態系の調査をしながら、ボランティアの手で里山に還すプロジェクトです。3年間の植林期間を終え、今は下草刈りをして森を育てています。8月に草刈りを実施し、苗木にからみついたツルを苦労して取り除きました。さらに信州大学中村寛志教授による生物多様性調査も実施。山火事跡の草原と森林の境界付近が最も多様性が高いこと、草原をすべて林に戻すのではなく適度に草原を残すことで、生物多様性の高い環境が維持できることがわかりました。



苗木にからみついたツルを外すべく奮闘

中国：シルクロード緑化

特定非営利活動法人 2050

沙漠化防止のために9万本の苗木を黄土高原に植林

シルクロードの地、中国の黄土高原で沙漠化を防ぐために、現地の気候に合う沙棘(サジー)の苗基地を作り、植林用の苗を供給します。2014年度は甘肅省蘭州市で30ヘクタールの土地に9万本を植林。苗基地は33ヘクタールに拡大し、沙棘や竹柳、コノテガシワなどの苗を生産しています。数年前に植えた沙棘は成長してたくさんの実をつけています。また、3年ぶりに日本からの植林ツアーを開催しました。中国各地からも多くのボランティアが集まり、植林が根付きつつあることが伺えました。



沙棘がたくさんの実をつけています

日本：種まき塾

有限責任事業組合 富良野種まき塾

9,575本の苗木を北海道の植林に提供

樹木の種や実生(種から発芽したばかりの木)を集めて成長させ、北海道内で植林する団体に苗木を提供しています。本来の植生回復のために、赤エゾマツやミズナラなど、地域に元々ある樹種を育成し、育苗体験や種まき体験も行っています。2014年度は9,575本の苗木を提供し、育苗や種まき体験には延べ595人が参加しました。2011年に実施した『いのちとココロを育む「種まき塾の里親プロジェクト」』から2年半が過ぎ、8月には育った苗を植林するツアーも開催しました。



苗畑で育成中のミズナラ

中国：秦嶺(シンレイ)山脈 森林・生態系回復

西北大学生命科学学院

生物多様性が回復してキンシコウの減少が停止

絶滅危惧種のキンシコウやジャイアントパンダなど、希少動物の宝庫であるシンレイ山脈において、動物の移動を妨げる使われなくなった林道へ植林することで、生物多様性を取り戻すプロジェクトです。2014年度も西北大学学生と中学生、地域住民により5,600本を植林しました。これまでに、廃棄林道194kmのうち7割以上に約95,600本もの木を植え、80%以上の高い活着率を誇っています。西北大学の調査では、リスなど動物の行動範囲が広がり、キンシコウの減少に歯止めがかかったことがわかっています。



大きな穴を掘って苗木を植える

日本：東日本大震災復興支援 森は海の恋人 特定非営利活動法人 森は海の恋人

気仙沼で夏から冬にかけて自然体験を3回開催し、39人の子どもが参加

三陸沿岸は震災被害から急速に生態系が回復しつつありますが、復興に向けた護岸工事などによって自然が体験できる場所も減りつつあり、子どもの自然離れが深刻になっています。そこで、森の養分で育つ牡蠣養殖を題材に、自然を学び体験するプログラムを提供します。7月から1月に夏は合宿で、冬は日帰り計3回の自然体験を開催。牡蠣の養殖いかだを見学して食物連鎖を学び、自分で釣った魚を料理して食べることで、知識と体験から気仙沼の自然と人の関係を学びました。



和船に乗り、自ら漕いで漕いで牡蠣養殖いかだに向かう

黒姫の「アフンの森」と東松島の「復興の森ツリーハウス」で自然体験

自然とふれあう機会の少ない子どもたちや東日本大震災で被災した子どもたちが、自然とふれあい、自分らしく生きていくためのきっかけになる機会をつくります。長野県・黒姫の「アフンの森」で、盲学校・養護学校の子どもたち11人と保護者を招き、触覚や音を重視した体験学習を実施しました。子どもたちは木や草を触ったり、水の冷たさを感じたり、豊かな感受性を発揮しました。また、宮城県・東松島の「復興の森ツリーハウス」周辺の森と海で約40人に自然体験を開催しました。



全身で森を感じる(アフンの森にて)

中・高・大学生がfacebookで南三陸町の記事を発信

東日本大震災から自然環境との共生を軸とした復興に取り組む宮城県南三陸町で、地元と仙台市の中・高・大学生に地元企業や個人の取り組みを学ぶ機会を提供し、将来の復興を担う人材を育成します。2014年度は、8月と11月に2泊3日の合宿を実施、合計31人が参加しました。バイオガス施設でつくった液肥を使う田んぼや最終処分場がなく保管される大量の焼却灰など、複数の取り組みや課題を見学しました。最終日は町の人々も交えた発表会を行い、facebookに記事を投稿、世界に発信しました。



牡蠣殻の山を見学(左) / facebookページ(右)

海岸の浸食を防ぐマングローブ12,260本を植林

海水面の上昇や波による土地の浸食を防ぐためのマングローブ植林を行っています。キリバス共和国アノテ・トン大統領にも期待され、環境・国土・農業開発省とともに植林面積を拡大しています。現地ではマングローブ植林の重要性が認知され、地元では自主的な植林活動が広がっています。2014年度も、目標本数を大きく上回る12,260本のマングローブ種子を植えました。また、植林するマングローブが根付きやすくなるように、種から苗木を育てるための苗畑をつくる取り組みをはじめました。



アナナウコースウェイに沿って成長するマングローブ

海岸の浸食を防ぐマングローブ4,420本を植林、ごみを収集車3台分回収

南太平洋のツバルでは海岸の浸食を防ぐマングローブ植林と、住民向けにごみ問題の啓発活動を行っています。2014年度はフナフチ環礁で昨年より約1千本以上多い4,420本を植林しました。また、新たにキオア島での植林要請があり現地調査を行ったところ、砂浜の浸食が進んでいることがわかりました。植林開始に向けて、住民への説明会と数十本のテスト植林を行いました。清掃活動では、住民が積極的に参加するようになり、ごみ収集車3台分のごみを回収しました。



植えたマングローブの種が育って枝や葉が出ています

国連開発計画 (UNDP) からの追加支援が決定

パプアニューギニアの豊かな熱帯原生林と生態系を守るために、安定した食糧自給や現金収入につながる農業・畜産の技術指導をしています。2014年度は支援する普及研修拠点が現地で法人格を取得しました。約3万ヘクタールの原生林を保護区として環境省に申請する予定です。また12月には、国連開発計画 (UNDP) から本プロジェクトが高く評価され、追加の支援を受けることになりました。今後も農業指導や畜産飼料の開発、現地の資源を活用した特産品づくりなど、さまざまな研修を継続していきます。



現地スタッフによる住民への農業指導

レストランや市場の野菜くずを未利用資源として活用

ソロモン諸島にて、熱帯雨林保全のために安定した食糧自給や現金収入の確保をめざし、定置型有機農業の技術指導と普及に取り組んでいます。2014年度は、州政府の職業訓練校として位置づけられ、現地スタッフが3人から5人に増えて公務員待遇となり、大工など新たなコースも設けられました。また、生産(教育)～物流～販売の流れを理解することにより、未利用資源として有効活用できるものを自ら考えて探し、動くようになりました。好評のハチミツは商品の種類が増えました。



野菜くずを集めて肥料にします

富士山で小中学生12人、白神山地で高校・大学生10人が環境学校に参加

環境について体験を伴った知識を持ち、メッセージを多くの人に発信、行動できる「環境メッセンジャー」の育成を目的に「環境学校」を開催します。2014年度は富士山と白神山地です。富士山では、エコ・クッキングやごみ拾い、青木ヶ原樹海のトレッキングをし、白神山地ではマタギに学びながら、胸まで水につかる沢登りに挑戦しました。参加者たちは、体験とディスカッションを通じて、環境について深く考えることができました。環境学校は2014年度で終了し、野口健氏の新たなプロジェクトが始まります。



野口健氏が自身の思いを子どもたちに話しました(富士山)

ムササビが暮らしやすい森 = 動植物が暮らしやすい森に向けた整備を継続

富士山の北東で野生動物がすむ里山をつくるプロジェクトです。2014年度は、植林を終えたエリアの隣で新たな森林整備を開始し、下草刈りや除伐の後、ムササビが好む実をつける大きな広葉樹(アラカシ2本、スジダイ2本、カンツバキ2本)を植えました。整備済みのエリアの調査では、昆虫や野生動物の痕跡が増えた反面、シカなどによる食害がみられました。また、森林整備で切り落とした枝を使った木質バイオマスペレットの研究を、山梨県森林総合研究所と共同で進めています。



巣箱から顔をのぞかせるムササビ

Information

ネパールで「野口健 マナスルに森をつくらうプロジェクト」を開始します

4月25日に発生したネパール地震によりお亡くなりになった方々に心よりご冥福をお祈りしますとともに、そのご家族の方々に心からお見舞い申し上げます。

このたびエコカード基金では、現地の復興支援活動にも尽力しているアルピニスト、野口健さんによる、ネパールでの森づくりのプロジェクトを支援することにいたしました。このプロジェクトは地震の発生前から準備を進めていたもので、標高 3,600m に位置するマナスル峰山麓のサマ村にて、かつて原生林に覆われていた荒地を森林に戻し、土砂崩れなどの二次災害を根本的に解決しようというものです。本プロジェクトが現地の環境保全活動の一助となるよう、より強い意志をもって活動してまいります。

※本プロジェクトは現地の被災状況を勘案しながら進行いたしますので、開始時期や実施内容が変更となる場合があります。



サマ村と同じぐらいの標高に位置するタマー村ではすでに苗木の育成に成功しています

野口健さんからのメッセージ



認定NPO法人
ピーク・エイド 理事長
野口 健

マナスルとはヒマラヤにそびえる 8 千メートル峰の一つで、1956 年に日本の登山隊によって世界で初めて登頂を成し遂げた山です。麓のサマ村の村人たちは、今でもマナスルを「ジャパニーズマウンテン」と呼び、日本の登山隊を温かく迎えてくれます。このようにマナスル峰は数あるヒマラヤの山々の中でも、特に日本人の登山家にとって縁の深い山といえます。標高 3,600m に位置するサマ村は、かつて原生林に覆われていました。しかし、木材をチベットに輸出するようになり、原生林は無制限に伐採され、サマ村ではゴンパ（寺院）周辺を除いて立木はほとんど見あたらなくなりました。「木を切る文化」はあってもなかなか「植える文化」をもつ国はない。結果、土砂崩れが起き、人が亡くなることもあります。サマ村でも村人が生活のために木を切り、森林が破壊されたままの状態が放置されています。日本の技術で、ヒマラヤの森、しかもジャパニーズマウンテンの麓の森林を再生したい。3,600m という高所での植林活動は決して簡単ではありませんが、この新たな活動も一歩一歩進めていきたいと思いますので、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



野口健さんによるヒマラヤ大震災支援活動はこちら

<http://www.peak-aid.or.jp/fund-himalaya-earthquake/371/>

アンケートにお寄せいただいたご意見にお答えします！

Q1 日本国内、特に東北の被災地支援にもっと力を入れてほしい。

エコカード基金は、2002年に開始して以降「国内外の環境修復と保全」「次世代育成」というコンセプトに基づき活動しておりますが、会員様からのご意見を取り入れ、コンセプトに沿ったプロジェクトが被災地にもあれば前向きに検討してまいります。

Q2 紙での報告書の作成、発送をやめて、削減した経費を他の活動にあててほしい。

会員様の年齢構成上、年に1度の紙での報告書を要望されるお声も根強くございますので、そういったご意見にも配慮して紙での発行を継続しておりますが、双方のお声にお応えできる手法を検討してまいります。また、効率的な経費の使い方を検討し、活動費に充当できるような努力してまいります。

Q3 会員数の減少が気になります。テレビやラジオCMなどはしないのですか？

もっと多くの方にエコカード基金を知ってもらい、会員になっていただけるよう、テレビCMを始め、コスモ石油協賛の清掃活動「クリーン・キャンペーン」とのコラボレーションによるJFNリスナーへの告知、インターネットからの入会手続きの簡素化などに取り組んでいます。また、会員様のご意見を積極的に取り入れ、プロジェクトやエコツアーの企画に反映いたします。

Q4 世界遺産となった富士山を清掃する活動に参加したい。

コスモ アースコンシャス アクト クリーン・キャンペーン in Mt.FUJI にご参加いただけるエコカード会員特別枠をご用意いたしました。今年度の富士山での清掃活動は既に終了してしまいましたが、他の都道府県での開催につきましても参加枠を設けてまいります。詳細はコスモ石油ホームページをご覧ください。

Q5 子どもと一緒に参加できるエコツアーや関西地区から参加しやすいエコツアーを開催してほしい。

家族で気軽に参加できるエコツアー「地球の道」と「さつきやま森の親子学校」をご用意いたしました。「地球の道」は東京都立川市の昭和記念公園で、「さつきやま森の親子学校」は大阪府池田市の五月山公園で開催いたします。年齢を問わず、小さいお子様でもご参加いただけますので、是非ご参加ください。

Q6 国内での活動を優先してほしい。/海外(途上国)での活動を優先してほしい。

会員様から寄せられるご意見には、先進国は途上国へ支援することが務めというお声と、国内で環境活動に取り組み途上国のお手本となるのが務めというお声が両方ございます。エコカード基金では、そのどちらも先進国の務めであると考え、双方のご意見を尊重しプロジェクトを選択してまいります。

エコカード基金活動報告書 2015 アンケートプレゼントの紹介

アンケートにご回答いただいた方々の中から抽選で20名様に、「ムササビとともに暮らす里山再生」のパートナー、NPO法人 都留環境フォーラムが栽培期無農薬・無化学肥料で栽培した米や小麦を使ったみそや麺のセットをプレゼントします。(応募締め切り9月30日。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。11月頃発送予定)



セット内容

- みそ(1kg) / 原材料:大豆(山梨県都留市産、遺伝子組み換えでない)、塩(国産)
- 玄米(6合) / 原材料:玄米(山梨県都留市産)
- こむぎ麺(2個) / 原材料:小麦(山梨県都留市産)、塩(国産)
- きなこちゃん(1個) / 原材料:大豆(山梨県都留市産、遺伝子組み換えでない)

下記のアレルギー物質を含む原材料を使用しています。

みそ:大豆 / こむぎ麺:小麦 / きなこちゃん:大豆

2015年報告書アンケートはホームページから
ご回答いただけます。

<http://www.cosmoil.co.jp/question/>

